



# 子どもの森づくり通信

(発行: NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク)

「子どもの森づくり運動」  
フラグシップ園会報  
(2014年9月号)

〒144-0054 東京都大田区新蒲田1-10-4 tel:03-5711-0362 fax:03-5711-2264  
http://www.kodomonono-mori.net mailto:info@kodomonono-mori.net

「子どもの森づくり運動」とご縁をもたせていただいた方々に、活動情報をお送りさせていただいております。ご意見など賜れば幸いです。



相変わらず、全国的に不順な天候がつづきます。

災害等、危機管理に十分ご留意願います。

そんな中、東北のどんぐりは元気に育っています。

## (目次)

1. 緊急募集！「広島市大規模土砂災害」復興支援ボランティア活動 参加者募集
  2. JP子どもの森づくり運動「東北復興グリーンウェイブ」活動レポート
  3. 事務局からのお知らせ
- どんぐり博士の育苗講座 2014～新シリーズ！野外活動の安全編①～

### ■「子どもの森づくり運動」とは

今子どもたちは、高度な情報化社会の中でバーチャルな環境に取り囲まれ、本物の自然体験活動から遠ざけられています。しかし、子どもたち(特に幼少期の)は、変化に富んだ自然体験活動の中でこそ、五感を通じて豊かな感性や健全な環境意識、そして子ども本来の生きる力を育みます。「子どもの森づくり運動」は、全国の保育園・幼稚園を拠点に一貫した森づくり活動を通じて、幼児期の子どものために「生きる力」と「健全な環境意識」を育むための自然体験活動と環境学習の場を提供しようという全国運動です。

### ■「JP子どもの森づくり運動」とは

特別ご協賛企業「日本郵政グループ」様との協働で、運動を全国に普及促進するフラグシップ活動を「JP子どもの森づくり運動」、フラグシップ活動実施園を「JP園」として活動を展開、2010年7月、フラグシップ園全国ネットワークが構築されました。

### ■「子どもの森づくり運動」運営体制

- ・運営 : NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク(「子森ネット」)
- ・特別協賛 : 日本郵政グループ
- ・後援/協力 : (社)全国私立保育園連盟 (社)大谷保育協会
- (順不同) (社)国土緑化推進機構 NPO法人C・C・C 富良野自然塾
- (社)日本森林インストラクター協会 NPO法人自然体験活動推進協議会
- NPO法人MORIMORI ネットワーク (社)日本オート・キャンプ協会
- (株)実業之日本社 月刊ガルヴィ編集部 保育環境研究所ギビングツリー



## 1. 緊急募集！「広島市大規模土砂災害」復興支援ボランティア活動 参加者募集

NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク(「子森ネット」)では、東日本大震災につづき、「広島市大規模土砂災害」の復興支援活動に取り組みます。今回の支援活動は、同災害の被災地である広島市安佐南区に所在する、子どもの森づくり運動ネットワーク園「保育所みのり愛児園」と「山本まごころ保育園」が活動の拠点となり、園界隈の被災地域を中心に宅地等に堆積した土砂の撤去等のボランティア活動となります。東日本大震災同様、広島市の災害においても復興にはかなり時間がかかる見込みで、長期的な支援活動が求められます。つきましては、ネットワーク園の皆様にご参加いただければと思いますご案内申し上げます。なお、活動の内容は、地元自治会等からの要請に対応したものととなります。直前の作業内容の変更や実施日の延期等があり得ます。あらかじめご了承の上、参加をご検討下さい。

### <参加者募集要項>

- 1) 主 催: 社会福祉法人 川内福祉会 保育所 みのり愛児園  
社会福祉法人 明德福祉会 山本まごころ保育園  
NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク
- 2) 実施日: 2014年10月4日(土)、5日(日)
- 3) 集合場所: 「保育所 みのり愛児園」広島市安佐南区川内3丁目23番27号  
\* 広島空港から約40分 \* 広島インターから約5,6分 \* 広島駅から約30分  
\* もより駅: 市バス「下調子」駅から25メートル
- 4) スケジュール(予定)  
10/4(土) 12:00 集合/マイクロバスにて活動地域へ移動  
13:00 <ボランティア活動>  
16:00 終了予定⇒バスにて集合場所へ移動  
10/5(日) 9:00 マイクロバスにて活動地域へ移動  
<ボランティア活動>  
15:00 終了予定⇒マイクロバスにて集合場所へ移動、現地解散
- 5) 移動(集合)
  - ・「保育所みのり愛児園」集合・解散とさせていただきます。
  - ・「保育所みのり愛児園」までの移動費用は参加者でご負担下さい。
- 6) 宿泊
  - ・みのり愛児園さんのご好意で、無料の宿泊場所をご用意いただきました。
  - ・寝袋等をご用意下さい。(貸し出しあり)
- 7) 食事
  - ・各自でご用意下さい。(もよりにコンビニあり)
  - ・希望者には実費にてお弁当等の手配が可能です。(要予約)
- 8) 主な持ち物: ・雨具 ・長靴 ・手袋 ・マスク ・スコップ(可能な方のみ)  
\* その他、別紙参加申し込み資料をご参照下さい。
- 9) その他: ボランティア保険にご加入いただきます。
- 10) 参加申し込み方法  
別紙申し込み用紙にご記入の上、事務局宛FAX、あるいはメールにてお申し込み下さい。  
\* 締切り: 9月30日(火)

## 2. JP子どもの森づくり運動「地域での活動」レポート

### ■岩手県「駒形保育園」東北復興グリーンウェイブ苗木を見送る活動

・日時：2014年5月15日(木) ・場所：園庭 ・日本郵政グループ参加者：横町郵便局 水沢局長



### ■鹿児島県「こまどり保育園」東北復興グリーンウェイブ苗木を見送る活動

・日時：2014年5月16日(金) ・場所：園庭 ・日本郵政グループ参加者：鹿児島中央郵便局 星子局長



### 3. 事務局からのお知らせ

子どもたちに活動における大切なことを伝えるためには、季節に応じて子どもたちが苗木とふれ合える機会を与えてやっていただければと思います。秋ならではの下記の活動をおすすめします。

#### 1) どんぐりを拾ってポットやプランターに植える活動

秋になり、またどんぐりが実る季節がやってまいりました。

「子どもの森づくり運動」の活動も7年目を迎え、活動を一通り経験なされた実施園においても、地域の森でどんぐりを拾って育てるといった活動を経験していない園児さんもいらっしゃるのではと思います。子どもたちは、どんぐりを種から苗木に育て、植える、という一貫した活動を通じて、木や森の大切さを実感してくれます。是非、活動のリポートをおすすめします。



#### 2) 植えた苗木の成長を見に行く活動

苗木は、活動に携わった子どもたちの“大きなあ〜れ！”という願い、そしてそんな子どもたちを見守る保護者や幼稚園・保育園の先生たちの『子どもたちと共に健やかに育て』の願いを込めて植えられ、見守られてまいりました。植樹した苗木の成長は、それぞれの実施園における「子どもの森づくり運動」の活動の成果であり、子どもたちの“育ち”のスケールです。秋の遠足等で、そんな苗木を見に行き、その成長を子どもたちと確認する活動をおすすめします。



#### ●どんぐり博士の育苗講座2014～新シリーズ！野外活動の安全編①～

前号までの基本編では、「子どもの森づくり運動」のメインとなる、どんぐりからの苗育てと植樹についてまとめました。このように子森の運動には、野外活動が欠かせません。そこで今号からは、野外活動の安全についてシリーズ化し、みなさんと一緒に考えていきたいと思います。

どんぐり博士：河内和男（森林インストラクター）



□非常に不安定な天候が続いた夏でしたが、9月中旬となると秋らしい穏やかな日も増えてきました。今年も、お芋掘りやどんぐり拾いなど、秋を満喫する時期となりました。各幼稚園や保育園では、野外行事が盛りだくさんの時期を迎えていることと思います。たまたまこのような時期に、野外活動の安全編をスタートさせることになりました。

□さて、この安全編は、上に記したようにみなさんと考えていくシリーズにしたいと思います。と言うのも、この通信の多くの読者でいらっしゃる保育園や幼稚園の先生方は、子どもの安全に関するプロですので、私どもがみなさんにアドバイスする立場にはありません。ただ、野外での経験と自然に対する学びだけは少し豊富かも知れません。そこで、この経験を基に安全に関する話題を提供し、それぞれの園の環境に合わせて対応を考えてもらえるような講座を目指したいと思います。

□シリーズ1回目で導入の話が主になりましたが、9月～10月の野外活動では、特に注意しなければならない事がありますので、残りの少ない紙面で少しだけ情報発信しておきます。それは**スズメバチ**です。この時期のスズメバチが危険な事は、ご存じの方も多いと思います。スズメバチは秋に世代交代の時期を迎え、新たな女王蜂と、交尾のためだけに生まれてくる大量のオス蜂を育て上げるために、大変攻撃的になると言われています。

□里山や農業地帯に隣接する公園等にはスズメバチがいて当たり前ですし、都市部でも樹木の数と種類によっては巣のある可能性があります。下見や管理者などからの情報を入手し、巣やハチに近づかずに活動できるよう、ハチにも注意を払った準備が必要な時期です。因みに、スズメバチは交尾した女王蜂だけが冬を越して、また新たな集団を作ります。